

震災(震度5弱以上の地震)が発生した時の対応

地震発生(杉並区で震度5弱以上)

自分の身を守る

・丈夫なテーブルの下や物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」
空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

・高層階では、ゆれが数分続くことがある。
・大きなゆっくりとしたゆれにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある

ゆれがおさまる

出口を確保
門や壁には近寄らない

落ち着いて 火の元確認 初期消火
あわてた行動 けがのもと

登校前に地震があった

- 自宅に待機し無理に登校しない
- その後の対応は学校から連絡

登下校中に地震にあった

- 自宅に保護者がいて、帰ることができる。

YES

自宅へ帰る

NO

学校へ行く

<学校にいる時>

◎ 学校待機

★学校側から保護者へ連絡
(電話連絡網・ホームページ・一斉メール)

- 引き渡しカードに記載のある引き取り者のみに直接引き渡しとなります。

※震度5強以上の場合は、震災救援所が開設され、そこで待機。

◆ 災害用伝言ダイヤル「171」の活用 ◆

震災発生時には、学校からの情報を「災害用伝言ダイヤル」を活用して発信します。伝言は、下記の手順で再生できます。

- 1 **1 7 1** を押す (音声で案内が流れます)
- 2 **2** を押す
- 3 学校の電話番号を押す **【03-3314-1564】**
- 4 **1 #** を押す (電話機がダイヤル回線の場合は不要)
- 5 伝言が再生される